



大蛇山

撮影：山田吉勝

主体者は私たち

参議院本会議で、「国民投票法案」が強行採決されこの法案が成立しました。これにより、4年後（2011年秋）には「国民投票」が実施されることとなります。しかし「国民投票法案」の中身は、最低投票率も決めず、教員や公務員の運動の規制をし、メディアを使った有料広告を野放しにし、広報、宣伝活動を行う広報協議会も議席比に応じて決定されるなど公平ではありません。

また自民党の改憲内容「新憲法草案」の中身は、現憲法第9条の2項「陸海空軍その他の戦力はこれを保持しない、国の交戦権はこれを認めない。」と誓った戦力の不保持・交戦権の否定を前面削除しました。そして新たに、「我が国の平和と独立並びに国及び、国民の安全を確保するため、内閣総理大臣を最高指揮者とする自衛軍を保持する。」と明記しています。これにより集団的自衛権の名のもとにアメリカが利権を目指して各地で引き起こす戦争に、日本が一体となって参戦していくことに道をひらくこととなります。私たちが、私たちが子や孫が戦場へ送られようとしています。

いま大切なことは、憲法改悪阻止の為の過半数世論の獲得を最重点課題と位置づけ、まず、国民投票法のからくりや新憲法草案の中身を職場や友の会で学習しましょう。さらには、日常生活の中で常に平和憲法を意識し、自らが語り部となり、家族・友人・知人・地域へ訴え連帯の輪をひろげていきましょう。そして来るべき国民投票で勝利し、「平和憲法を守りぬいた大人」として、子や孫に継承していきたいと思えます。主体者は私たち自身です。

林 敏哉

ガン医療と地域連携……

5月14日の全医師会議において、大牟田市立総合病院副院長の野口和典先生をお招きして「当地域におけるガン医療と連携について」の講演会が開催されました。

有明地域におけるガンの発症状況について全国と比較しながら説明され、肺癌や肝臓癌患者が多い事とその因果関係について述べられました。また、今日的なガン治療の到達や今後の方向性について学術的な面から話しをされました。ガン医療における地域連携については、ガン拠点病院の大牟田市立総合病院がガン医療に取り組み上



講演される野口先生



で不可欠であり、多くの医療機関との連携を模索している事が強調されました。

米の山病院がガン医療においても地域の医療要求に応えるべく、更に地域連携を進める必要がある事を改めて確信しました。

医師部長 堤 和則

医師紹介

◆臨床病理部

部長 八反田洋一



皆さんはじめまして。
4月1日付けで赴任いたしました八反田洋一（はちたんた）と申します。病理という言葉は聞き慣れない言葉と思います。

今回、私の仕事の内容を紹介させていただきます。

1) 細胞診：患者さんから採取した痰、尿など、また病変部に針を刺したり擦ったりして採取した細胞を顕微鏡を用いて観察し良性、悪性その他の判断をいたします。

2) 病理組織診断：胃・大腸カメラ、気管支鏡、穿刺や手術などで採取した組織を顕微鏡で調べて、良性悪性の判断およびその他の病変の判定を行います。この結果によって主治医は治療方針を決定しますので、病理診断は最終診断と言われています。

3) 手術中迅速診断：手術時に切除した範囲は適切かどうか、リンパ節に転移はないかなど特殊な方法を用いて15分程度で手術中に判断します。
4) 解剖：お亡くなりになられた患者様のご遺体を解剖させていただき、今後の医療に役立てるものです。

以上が私の仕事の内容です。主治医から「病理（細胞診）の結果は……」と聞かれた時には私の仕事の内容を思い出していただければ幸いです。

◆整形外科 科長 辻 王成



前任者の石村先生を引き継ぎ、4月より米の山病院に赴任しました整形外科の辻です。

大牟田地区は高齢化にともない、首・腰・股関節・肩関節の痛み・手足のしびれ、骨粗鬆症などの病気を患っている方が多いようです。まず、診察・検査で診断し、病気の段階に応じて、リハビリ・注射・手術で治療を行います。皆さまのつらさが少しでも和らぐようお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

後期高齢者医療制度

いのちが危ない

来年4月から開始される後期高齢者医療制度は残酷な制度です。75歳になったら今の健康保険からはずされ、独自に保険料を支払わなければなりません。例えば、いままでお子さんの健康保険の扶養に入っていた方も75歳になったら本人が保険料を払うこととなります。厚生労働省の計算では月平均6200円ですから、介護保険と合わせれば月1万円を超える保険料です。高齢者の方は月10万円以下の収入が4割という状況ですから、強制的に天引きされれば、病気になるって病院にかかれないうころか、暮らしていけない状態になります。しかも、保険料が払えなければ国民健康保険と同じように資格証明書を発行して、病院の窓口で10割全額支払わなければなりません。通常は病院での窓口負担は1割となります

が、短期保険証や資格証明書は現実に起こりえる大変な問題です。このように75歳という年齢で差別をし、わずかの年金から強制的に天引く、きわめて非人道的な制度といわざるを得ません。全日本民医連はこの制度の撤回のために立ち上がったといいます。まだまだ知らないという方も少なくありません。安心して住み続けられるためにも、この制度の問題を多くの人に知らせていきましよう。



「MRSAなんて怖くない」の感染学習会に159人参加

労働福祉会館
5月29日

米の山病院では毎年、全職員向けの感染対策学習を3回ほど取り組んでいます。今回は数年前から筑後地区をお世話いただいている本田順一医師（聖マリア病院）ならびに重富美穂看護師（久留米大学病院）両先生を講師にお招きし、病院と地域の施設や診療所がいっしょになって学習する機会といたしました。患者様は地域と病院を複数行き来しますので、これからの感染対策は、病院の垣根を越えて全ての医療従事者が協力して取り組むことが大切になってきていると考えられます。このことを反映してか、会場は立ち見が出るほどに満員でした。アンケートの結果から「強したい」などの感想が多数寄せられ、次の学習会を早くお願いしなければと、主催者側はうれしい悲鳴でした。また、米の山病院では学習会に先立ち、両先生に各部署のラウンドをしていただきました。講評で励ましとお褒めの言葉をいただき、現場のリンクナースさんたちが大変喜んでいました。

（感染委員会

高口栄子）



実践を交えた学習会

ビタミンB1たっぷり
夏バテ予防に！

水餃子

管理栄養士 垣田 あゆみ



餃子のあんは冷蔵
庫の残り物でOK！

作り方

- 1) 白菜、長ねぎ、生姜はみじん切りにする。えびは殻を剥き身を包丁で叩いておく。
- 2) 1)と豚ひき肉と調味料を混ぜ合わせる。
- 3) 餃子の皮で2)のあんを包む。(市販の皮を使う場合は2枚重ねて使うともちもち感が増す)
- 4) 沸騰した湯に3)を入れ、再沸騰してきたらコップ1杯の水を入れる。再び沸騰してきたら餃子を湯からあげる。
- 5) スープを作る。沸騰した湯にザク切りにしたキャベツとコンソメを入れ淡口醤油で味を調える。
- 6) 4)の餃子をスープに入れて出来上がり。

材料 (餃子約20個)

豚ひき肉……300g
白菜……100g
えび……100g
長ねぎ……2本
生姜……20g
塩……小さじ1
淡口醤油……大さじ1
ごま油……小さじ1
オイスターソース……大さじ1
餃子の皮……1袋

【スープの材料】

キャベツ……100g
コンソメ……2個
水……600cc
淡口醤油……大さじ2

【餃子の皮】

強力粉……100g
薄力粉……100g
塩……小さじ1/2
水……約100cc



クイズ 頭の体操

「桃太郎さん、桃太郎さん、お腰につけたきびだんご……♪」ではじまる、童謡「桃太郎」さて、「2番」の歌詞は、次のうちどれでしょう。

- 1.『やりましょう やりましょう……♪』
- 2.『行きましょう 行きましょう……♪』
- 3.『そりや進め そりや進め……♪』

No.21(5月1日号)の答えは「1a2a3b4a5b」でした。

正解者は5名でした。松藤義昭様(柳川市)、紫牟田教秀様(大牟田市)
北原繁燈様(大牟田市)、平野寿宗様(大牟田市)、津波古八重子様(大牟田市)

応募のしかた

答えを紙(ハガキ)に書いて、送っていただくか受付までお持ち下さい。FAX、メールでも可。〆切は2007年7月末日。正解者の中から抽選で5名様に粗品を進呈します。

機関誌や米の山病院についてのご感想、ご意見などもお寄せ下さい。

米の山病院の
ホームページを
ご覧下さい

様々な取り組みのいったんや求人情報などもご案内しています



読者の声

一面の写真を毎回楽しみにしています。さわやかな5月の風に泳ぐ鯉のぼり、川岸には武者のぼり、子どものすこやかな成長を願う親心がうかがえます。そして私たちは、教育三法案を廃止に追い込むこと、大人としての責務だと思います。
(大牟田市Tさん)

機関紙「こめのやま」審査員特別賞受賞

日本機関紙協会九州地方本部が主催する第7回機関紙コンクールで機関紙「こめのやま」1月号が審査員特別賞を受賞しました。受賞の理由としては、「全体として読みやすい」「オールカラーで笑顔の写真も色も明るくにぎやか」などです。今後とも地域の皆様から発行が待ち望まれる楽しい機関紙づくりに励みたいと思います。

